

## 山行報告 富士山登頂ならず 井上志津子

山行日： 8月19(日)～20日(月) 晴れ時々曇り後雨  
山名： 富士山  
メンバー： 井上 志津子、 2番目の孫 土手 由則(小四 9歳)  
コースタイム： 1日目：南柏 6:42—新松田—松田—御殿場バス 10:35—須走口五合目 12:30  
—18:00 須走口七合目大陽館泊  
2日目：大陽館 8:00—11:30 須走口五合目—御殿場—新松田—17:30 南柏

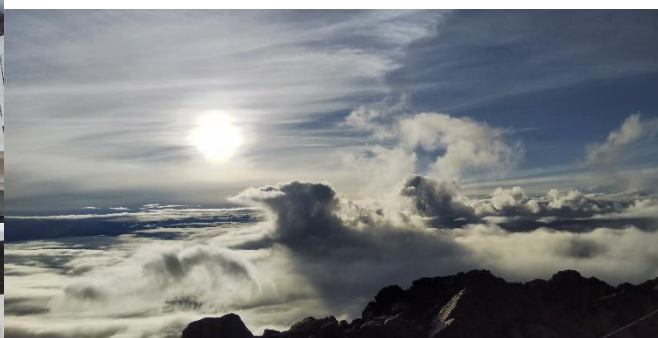
山好きの孫が中学3年となり勉強する年頃となったので、2番目の孫に富士山に行かない？と聞くと行きたいけど虫が嫌いだから虫がいなければ行く、ということで相談が始まった。これまでの経験は筑波山、高尾山、金時山、大野山と近くの手賀沼半周 10 kmなどである。富士山は大変だけれど七合目以上は行けるところまででよいかと思い計画した。初めの計画は台風12号にあたりあえなく中止。4回目の山小屋予約変更と2回目の計画書提出でやっと晴天続きの日に当たり決行できた。



当初新松田駅より須走口五合目まで富士急バスに乗るつもりであったが、うまくいかず待ち時間で2日分の行動食を買い、御殿場まで行き、バスに乗った。

11時半にやっと五合目に着き一息ついて金剛杖を買ったり、装備を整えて歩き出すときは12時半になっていた。歩き始めて1時間で左の登山靴の底がパッキリ4分の1を残して開

いてしまった。すでに 15 年になりその間 2 回底を張り替えて経年劣化と知りながらも富士登山用にとっておいたものだった。探しても結束バンドの持ち合わせはなく、コンパスのヒモをはずしてしばったら、歩ける状態となった。細くて不安なので七合目の大陽館でもっと丈夫そうなヒモをもらいとりかえて下山できた。



大陽館前で一写真を撮るので一瞬元気なポーズをとれた。

雲と光のショータイム

富士山はなんでも高いのでお湯を 800cc と水分を 4 L 持ち、山中で買い物をしないよう用意した。ほかに食べ物と衣類で小屋泊りながらけっこう重く感じ休み休み歩いた。行動中も電話やメールがあり返信にも時間がかかった。Y 君もペットボトル 3 本と行動食衣類を持ち、頑張って歩いた。小屋ごとに金剛杖に焼き印を押してもらった。結果ゆっくり歩きで体調は良好であった。雲を下に見て歩くのが楽しそうだった。

大陽館に遅く着いたので説明のあと、すぐに夕食となりハンバーグと豚汁をおいしくいただいた。Yは小柄なので小盛りにご飯と豚汁をよそったが、おいしいと言ってしっかりお替わりをして平らげた。

8時に就寝となりひと眠りしたら11時であった。2人で外に出たら満天の星空で小さな星までいっぱい見れた。

もう1度寝たら3時に目が覚めた。隣の3人は出かける用意をしている。頂上に行くことを考えて4時にYを起こして4時半にヘッドランプをつけて出発した。歩き出して30分で進まなくなり、ツェルトを出して2人でくるまり雲とご来光を見ることにした。しばらくしてYの顔色がわるくなってきたので大陽館にもどり休ませることにした。写真を撮ってもらう時、一瞬元気を見せたが、すぐに小屋に入り寝てしまった。

私は滅多にないこの時間を外でコーヒータイムとしてしばし至福の時間を味わった。

Yが中々回復しないのもう降りるしかないと決断して荷物をまとめた。

下山開始してものの5分で楽になってきたようで調子よく歩き始めた。30分で天候が変わり霧がでてきた。その後雨に変わったので今回は七合目までとして良かったと思った。砂払い休憩所でも焼き印を押してもらい、ゆっくり休んで着替えているうち雨が上がり無事11時半に五合目に戻れた。

今回10回目の富士山で登頂はできなかったものの、よいトレーニングになりました。装備などよく反省して今後に備えたいと思います。

以上です